



再生可能エネルギー導入のための蓄電池制御等実証モデル事業

平成24年度補正 90億円程度

イメージ

事業目的・概要等

背景・目的

- 太陽光発電や風力発電は、気象条件に依存するため、安定した出力を確保することが困難。
- 蓄電池の導入及び効果的な活用により、再生可能エネルギーの大幅な導入拡大を目指す。

事業概要

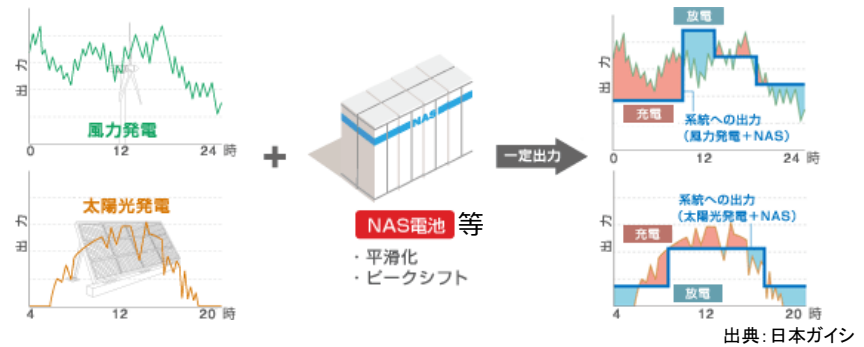
- 離島、過疎地域、山間地域等の基幹系統から独立している場合や、防災上の観点から蓄電を必要とする地域等において、再生可能エネルギー発電施設（太陽光発電及び風力発電を想定）に大型蓄電池を設置し、効果的な設置方法、出力安定化・変動緩和効果等の検証を行い、制御手法等を確立。

執行スキーム

- 補助対象：民間事業者等
- 補助割合：定額

期待される効果

- 再生可能エネルギーの出力安定化による円滑な系統連系の拡大及び系統安定化
- 再生可能エネルギーの導入拡大による温室効果ガスの削減



- 風力・太陽光の出力特性を踏まえた大型蓄電池の導入
- 蓄電池の設置による出力安定化・変動緩和効果を検証
- 効果的・効率的な設置・制御手法等を確立

再生可能エネルギー導入加速化

